

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所（登戸）
2022年度 第3回 研究倫理審査委員会議事要旨

2023年2月13日（月） 14:00～16:00

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所（登戸地区）、
研究本館 2F 会議室／オンライン開催

出席委員：久保智英委員、佐々木毅委員長、外山みどり委員
高橋正也委員、高橋幸雄副委員長、山口さち子委員、吉川 徹委員
山本健也委員（以上、内部委員）
池添弘邦委員、石森義雄委員、大貫恵佳委員、北島洋樹委員、
児井正臣委員、立道昌幸委員、宮城洋平委員（以上、外部委員）
欠席：井澤修平委員

（五十音順）

筆責：井澤修平、山口さち子

1. 開会挨拶
2. 資料確認
3. 前回議事要旨の確認
4. 新規申請案件の審査

2022年度第3回研究倫理審査委員会までに、通常審査として提出された新規研究計画書3件を審査することになり、審議の結果、1件が「承認する」、2件が「条件付きで承認する」となった。以下に示す審査結果は要旨であり、詳細なコメントについては別途申請者本人に通知する。

申請番号 2022N-1-24：研究計画変更：パッチ型センサによる高体温検知の妥当性評価（学振・科研費「ウェアラブル深部体温計の実用化と暑熱負担フィールド調査」の一部、申請者：時澤 健）

【承認する】

変更内容は主に研究期間、被験者数であり、変更による大きな問題は生じないと判断す

るため承認する。

申請番号 2022N-1-25 : 新規：うち水インナーの効果的な使用方法に関する研究（基盤的研究「うち水インナーによる暑熱負担の軽減効果」の一部、申請者：時澤 健）

【条件付きで承認する】

以下の指摘事項について加筆・修正等を行うことを条件に承認する。

- (1) 暑熱作業負荷試験では被験者自身が動きやすい靴を選択できるようにすること。
- (2) 撤回書が提出された際に実験データとの対応付けができるように工夫すること。
- (3) 研究対象者への説明文書に加筆修正を行うこと。

申請番号 2022N-1-27 : 新規：音声入力を活用した面談記録のタイピング負荷軽減、業務効率化効果検証（公益社団法人 日本産業衛生学会 遠隔産業衛生研究会による財源の一部、申請者：守田 祐作）

【条件付きで承認する】

以下の指摘事項について加筆・修正等を行うことを条件に承認する。

- (1) 実験環境条件および使用機材等がバイアスにならないように、可能な限り調整すること。
- (2) 研究計画書、研究内容説明書、研究参加フォーム（同意書としての要件装備）、お問い合わせ・同意撤回フォームの修正すること。
- (3) 研究データの収集・保管方法について確認すること。
- (4) 用意された事例に対する疲労度測定のアウトカム指標が適切か確認をすること。
- (5) その他審査結果に記載の事項に対応すること。

5. 迅速審査対象案件の結果報告

前回委員会以降に 7 件の迅速審査（新規研究計画書 6 件、研究計画変更申請 1 件）が申請された。規程に基づき申請ごとに異なる内部委員 2 名で審査した結果、3 件の申請（2022N-1-18（申請者：王 瑞生）、2022N-1-21（申請者：高橋幸雄）、2022N-1-22（申請者：高橋幸雄））が「承認する」、4 件の申請（2022N-1-19（申請者：佐々木毅）、2022N-1-20（申請者：岩切一幸）、2022N-1-23（申請者：小林秀行）、2022N-1-26（申請者：鷹屋光俊））が「条件付きで承認する」と判断されたことが報告され、承認された。

6. その他の案件（利益相反等）の審査

利益相反に関する審査書類は、迅速審査として 1 件の申請（2022N-COI-2（申請者：辻村憲雄））及び通常審査として 1 件の申請（2022N-COI-3（申請者：時澤 健））が提出された。規定に基づき委員長が審査した結果、「承認する」と判断されたことが報告され、承認された。

7. その他
特になし。

以上